

68 海士町文化観光地域計画

計画作成・実施体制

協議会：海士町文化観光推進協議会
自治体：海士町（交流促進課）、海士町教育委員会
中核文化観光拠点施設（設置者）：
後鳥羽院資料館（海士町教育委員会）
文化観光推進事業者：後鳥羽院顕彰事業実行委員会、（一社）海士町観光協会、（株）隠岐桜風舎、（株）風と土と、（株）海士、（株）隠岐國商工会、（株）島ファクトリー、（一社）島前ふるさと魅力化財団

計画期間

2026年度～2030年度（5年間）

目標

- ・国内来訪者数
2025年度 4,500人→2030年度 6,000人（+1,500人）
- ・外国人来訪者数
2025年度 500人→2030年度 1,000人（2倍）
- ・訪日外国人の満足度
データなし→2030年度アンケート調査「最も満足」の回答率80%
- ・案内人サービスの利用人数
データなし→2030年度の利用人数1,000人

地域文化観光推進事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・文化観光案内人の確保・育成事業

<2.文化観光に関する利便の増進>

- ・交流拠点への移動及び周遊利便性向上事業

<3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・宿泊施設との連携強化事業

<4.国内外への宣伝>

- ・文化観光拠点施設の展示・案内刷新に伴うP R 事業

<5.施設又は設備の整備>

- ・（現）後鳥羽院資料館の改修・展示・案内の刷新事業

文化観光推進事業費（5年間の計画ベース）

502.5百万円（うち、文化観光推進事業補助金335百万円）

計画区域

海士町エリア

泊まれるジオパーク拠点施設 Entô



かんこ舟
（有形民俗文化財）



隠岐民謡
（無形文化財）



隠岐島前神楽
（無形民俗文化財）



後鳥羽院文化
（無形文化財）

後鳥羽院資料館・民具館
（後鳥羽院、隠岐島前神楽、
隠岐民謡、かんこ舟）



海士町観光協会
（観光客の玄関口）

離島キッチン海士

つなかけ



中核文化観光拠点施設
（主要な文化資源）

主要な文化資源
（文化財等の種類）

飲食施設

販売施設

宿泊施設

その他施設